

## 3 地域公共交通計画の策定と自主運行バスの運行へ

持続可能な公共交通の実現に向けて

磐田市では、これまで民間バス路線とデマンド型乗合タクシーで市民の移動手段を確保してきました。しかし、令和元年度から民間バス路線の退出が相次ぎ、令和4年3月末には、遠州鉄道株式会社の「掛塚さなる台線とつか系統・千手堂系統」の退出も予定されています。これらのことから、本市の実情にあった持続可能な公共交通の実現に向けて、次の二つの取組みを行います。

### 1 地域公共交通計画の策定

本市の現状を踏まえ、公共交通の継続性の確保を目指し、令和3年度から調査業務に取り組み、令和4年度末までに地域公共交通計画を策定します。

### 2 遠州鉄道(株)「掛塚さなる台線とつか系統・千手堂系統」退出への対応

- ① 同2系統の代替交通について、市の委託事業として、通勤や通学の時間帯に自主運行バスを運行する事業者を公募し、令和4年4月からの運行を目指します。
- ② 地域の声を参考に、運行本数などを検討します。また、運行開始後も利用状況により、随時見直しを行います。
- ③ 竜洋と磐田南部地区のデマンド型乗合タクシーの運行便数を増やし、利便性の向上を検討します。

#### 【本市の公共交通の現状】

- デマンド型乗合タクシーの年間延べ利用数は、平成27年度の約7,600人から大幅に増加し、令和2年度には約29,000人に達しています。
- 令和元年10月から現在までの間に5系統の民間バス路線が退出しました。このため朝夕の通勤や通学の利用者に影響が出ています。